横植第494号
平 22.7.-8 成
横浜植物防疫所

２２消安第２８８４号
平成２２年７月５日

横浜植物防疫所長　殿

消費・安全局長

アリモドキゾウムシ駆除確認調査実施要領の一部改正について

このことについて、別紙のとおりアリモドキゾウムシ駆除確認調査実施要領（平成７年４月１０日付け７農蚕第１９３９号農蚕園芸局長通達）を改正したので、通知する。

接受
'22.7.-8
横浜植物防疫所

「アリモドキゾウムシ駆除確認調査実施要領」（平成7年4月10日付け7農蚕第1939号農蚕園芸局長通達）一部改正新旧対照表

改　正　後	現　　行
第１　趣旨 植物防疫法（昭和25年法律第151号）第16条の２第１項及び第16条の３第１項の規定に基づく同法施行規則（昭和25年農林省令第73号）第４章の２の植物等の移動の制限及び禁止に係る有害動物のうちアリモドキゾウムシ並びに同法第18条第１項の規定に基づくアリモドキゾウムシの緊急防除に関する省令の移動の禁止に係る同虫についての駆除確認調査は、この要領に定めるところによる。	第１　趣旨 植物防疫法（昭和25年法律第151号。以下「法」という。）第16条の２第１項及び第16条の３第１項の規定に基づく同法施行規則（昭和25年農林省令第73号。）第４章の２の植物等の移動の制限及び禁止に係る有害動物のうちアリモドキゾウムシ並びに法第18条第１項の規定に基づくアリモドキゾウムシの緊急防除に関する省令の移動の禁止に係る同虫についての駆除確認調査は、この要領に定めるところによる。
第２～第３　［略］	第２～第３　［略］
第４　調査の方法 駆除確認調査は、寄主植物の生塊根等の地下部又は生茎葉に対するアリモドキゾウムシの寄生の有無の確認の調査（以下「寄主植物調査」という。）及びフェロモントラップへのアリモドキゾウムシの誘殺の有無の確認の調査（以下「フェロモントラップ調査」という。）により行うこととする。ただし、必要に応じて設置したさつまいも生塊根を用いた調査用トラップへのアリモドキゾウムシの捕捉又は寄生の有無の確認の調査（以下「イモトラップ調査」という。）を活用することができる。 なお、不妊虫放飼法による防除が行われた調査対象地域（以下「不妊虫放飼地域」という。）にあっては、調査により誘殺等されたアリモドキゾウムシ成虫が不妊虫であるか識別するものとする。 これらの調査は、次の方法により実施するものとする。	第４　調査の方法 駆除確認調査は、寄主植物の生塊根又は生茎葉に対するアリモドキゾウムシの寄生の有無の確認の調査（以下「寄主植物調査」という。）及びさつまいも生塊根を用いた調査用トラップへのアリモドキゾウムシの誘殺又は寄生の有無の確認調査（以下「イモトラップ調査」という。）により行うこととする。ただし、必要に応じて設置したフェロモントラップへのアリモドキゾウムシの誘殺の有無の確認の調査（以下「フェロモントラップ調査」という。）を活用することができる。 これらの調査は、次の方法により実施するものとする。

改　正　後	現　　行
（1）寄主植物調査 ア　調査は、アリモドキゾウムシの嗜好度の高い寄主植物の生塊根等の地下部又は生茎葉について実施するものとする。 イ　寄主植物の生塊根等の地下部又は生茎葉の採取に当たっては、調査対象地域全域からできるだけ無作為に抽出するものとする。 ウ　採取個数及び調査日の間隔は、調査対象地域の広さ、寄主植物の分布状況等に応じて、植物防疫所長があらかじめ設定するものとする。 エ　［略］ オ　不妊虫放飼地域にあっては、不妊虫への標識又は標識に準ずる形態的・遺伝的等の特徴に応じた識別法により、不妊虫の識別を実施するものとする。 カ　調査結果は、駆除確認寄主植物調査野帳（別記様式１）に記入し、調査地点の略図、寄主植物の所在地、採取状況等を明記するものとする。 （2）フェロモントラップ調査 ア　フェロモントラップは、寄主植物の分布状況等を勘案して、場所的に片寄らないように設置するものとする。 イ　設置個数及び調査日の間隔は、調査対象地域の広さ、防除前の寄主植物の分布状況等に応じて、植物防疫所長があらかじめ設定するものとする。 ウ　トラップは原則としてロート型、粘着式簡易型又はそれと同等以上の能力を有するものとし、使用する薬剤は、合成性フェロモン剤とする。 エ　不妊虫放飼地域にあっては、不妊虫への標識又は標識に準ずる形態的・遺伝的等の特徴に応じた識別法により、不	（1）寄主植物調査 ア　調査は、アリモドキゾウムシの嗜好度の高い栽培種又は野生種の寄主植物の生塊根、生茎葉等について実施するものとする。 イ　寄主植物の生塊根又は生茎葉の採取に当たっては、調査対象地域全域からできるだけ無作為に抽出するものとする。 ウ　調査個数及び調査日の間隔は、調査対象地域の広さ、寄主植物の分布状況等に応じて、植物防疫所長があらかじめ目標を定めるものとする。 エ　［略］ オ　調査結果は、駆除確認寄主植物調査野帳（別記様式１）に記入し、調査地点の略図、寄主植物の所在地、採取状況等を明記するものとする。

改　正　後	現　　行
妊虫の識別を実施するものとする。 オ　調査結果は、駆除確認フェロモントラップ調査野帳（別記様式２）に記入するものとする。 （３）イモトラップ調査 ア　［略］ イ　設置個数及び調査日の間隔は、調査対象地域の広さ、防除前の寄主植物の分布状況等に応じて、植物防疫所長があらかじめ設定するものとする。 ウ　トラップは原則としてカゴ型又はそれと同等以上の能力を有するものとし、さつまいも生塊根は必要に応じて事前に殺虫剤で処理したものを使用するものとする。 エ　アリモドキゾウムシの捕捉の有無の確認は、トラップを設置した周辺及びその内部を目視により行い、アリモドキゾウムシの寄生の有無の確認は、さつまいも生塊根を原則として一定期間保管後、切開調査により行うものとする。 オ　不妊虫放飼地域にあっては、不妊虫への標識又は標識に準ずる形態的・遺伝的等の特徴に応じた識別法により、不妊虫の識別を実施するものとする。 カ　調査結果は、駆除確認イモトラップ調査野帳（捕捉の有無の確認の場合は別記様式３、寄生の有無の確認の場合は別記様式４）に記入するものとする。 （削除）	（２）イモトラップ調査 ア　［略］ イ　設置個数及び調査日の間隔は、調査対象地域の広さ、防除前の寄主植物の分布状況等に応じて植物防疫所長があらかじめ目標を定めるものとする。 ウ　トラップは原則としてカゴ型又はそれと同等以上の能力を有するものとし、サツマイモ生塊根は必要に応じて事前に殺虫剤で処理したものを使用するものとする。 エ　アリモドキゾウムシの寄生の有無の確認は、成虫の誘殺又は原則として一定期間保管後の切開により行うものとする。 オ　調査結果は、駆除確認イモトラップ調査野帳（誘殺による確認の場合は別記様式２、切開による確認の場合は別記様式３）に記入するものとする。 （３）フェロモントラップ調査 ア　フェロモントラップは、寄主植物の分布状況等を勘案して、場所的に片寄らないように設置するものとする。 イ　設置個数及び調査日の間隔は、調査対象地域の広さ、防除前の寄主植物の分布状況等に応じて植物防疫所長があらかじめ目標を定めるものとする。 ウ　トラップは原則としてロート型、粘着式簡易型又はそれ

改　正　後	現　　行
	と同等以上の能力を有するものとし、使用する薬剤は、合成性フェロモン剤とする。 エ　調査結果は、駆除確認フェロモントラップ調査野帳（別記様式４）に記入するものとする。
第５　調査期間 調査期間は、６カ月以上とし、過去の資料による多発時期をその間に含むものとする。 ただし、調査期間の設定に当たっては，都道府県が実施している発生調査等の結果を参考にして、期間を短縮しても差し支えないものとする。	第５　調査期間 調査期間は、６カ月以上とし、過去の資料による多発時期をその間に含むものとする。 ただし、調査期間の設定に当たっては，都道府県が実施している発生調査等の結果を参考にして、期間を短縮しても差支えないものとする。
第６　調査結果の報告 植物防疫所長は、駆除確認調査終了後、寄主植物調査の結果については、駆除確認寄主植物調査成績表（別記様式５）に、フェロモントラップ調査の結果については、駆除確認フェロモントラップ調査成績表（別記様式６）に、イモトラップ調査の結果については、駆除確認イモトラップ調査成績表（捕捉の有無の確認の場合は別記様式７、寄生の有無の確認の場合は別記様式８）に取りまとめ都道府県知事に通知するとともに、駆除の成否について、消費・安全局長に意見を添えて報告するものとする。	第６　調査結果の報告 植物防疫所長は、駆除確認調査終了後、寄主植物調査の結果については、駆除確認寄主植物調査成績表（別記様式５）に、イモトラップ調査の結果については、駆除確認イモトラップ調査成績表（誘殺による確認の場合は別記様式６、切開による確認の場合は別記様式７）に、フェロモントラップ調査の結果については、駆除確認フェロモントラップ調査成績表（別記様式８）に取りまとめ都道府県知事に通知するとともに、駆除の成否について、農林水産省消費・安全局長に意見を添えて報告するものとする。
第７　その他 ［略］	第７　その他 ［略］

改　正　後

別記様式１

駆除確認寄主植物調査野帳

調査月日：　　月　　日
調査者名：

市町村名：
地　域　名：
不妊虫放飼地域：（□である　□でない）

調査場所名	植物名	保管開始 月　日	切開調査 月　日	調査個数	寄生個数	アリモドキゾウムシ（寄生虫数）				備　考
						幼虫	蛹	成虫	計	（他のゾウムシの寄生状況等）
計										

（調査地点の略図等）

（注）不妊虫と識別された頭数は備考欄に記入し、それ以外のアリモドキゾウムシの頭数はアリモドキゾウムシ（寄生虫数）欄に記入すること。

別記様式２

駆除確認フェロモントラップ調査野帳

設置月日：　　月　　日
回収月日：　　月　　日
調査者名：

市町村名：
地　域　名：
不妊虫放飼地域：（□である　□でない）

トラップ番号	アリモドキゾウムシ（誘殺虫数）	備　考
計		

（注）不妊虫と識別された頭数は備考欄に記入し、それ以外のアリモドキゾウムシの頭数はアリモドキゾウムシ（誘殺虫数）欄に記入すること。

現　行

別記様式１

駆除確認寄主植物調査野帳

調査月日：　　月　　日
調査者名：

市町村名：
地　域　名：

調査場所名	植物名	保管		調査個数	寄生個数	アリモドキゾウムシ（寄生虫数）				備　考
		開始月日	終了月日			幼虫	蛹	成虫	計	（他のゾウムシの寄生状況等）

（調査地点の略図等）

別記様式２

駆除確認イモトラップ調査野帳（誘殺虫による確認用）

設置月日：　　月　　日
回収月日：　　月　　日
調査者名：

市町村名：
地　域　名：

トラップ番号	アリモドキゾウムシ（誘殺虫数）			他のゾウムシ	備　考
	雄	雌	計		
No. 1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
計					

改　正　後

別記様式３

駆除確認イモトラップ調査野帳（捕捉の有無の確認用）

設置月日：　　月　　日
回収月日：　　月　　日
調査者名：

市町村名：
地　域　名：
不妊虫放飼地域：（□である　□でない）

トラップ番号	アリモドキゾウムシ（捕捉虫数）	備　考（他のゾウムシの捕捉状況等）
計		

（注）不妊虫と識別された頭数は備考欄に記入し、それ以外のアリモドキゾウムシの頭数はアリモドキゾウムシ（捕捉虫数）欄に記入すること。

別記様式４

駆除確認イモトラップ調査野帳（寄生の有無の確認用）

設置月日：　　月　　日
回収月日：　　月　　日
調査者名：

市町村名：
地　域　名：
不妊虫放飼地域：（□である　□でない）

トラップ番号	保管開始	切開調査	アリモドキゾウムシ（寄生虫数）				備　考
	月　日	月　日	幼虫	蛹	成虫	計	（他のゾウムシの寄生状況等）
計							

（注）不妊虫と識別された頭数は備考欄に記入し、それ以外のアリモドキゾウムシの頭数はアリモドキゾウムシ（寄生虫数）欄に記入すること。

現　行

別記様式３

駆除確認イモトラップ調査野帳（寄生の有無による確認用）

設置月日：　　月　　日
回収月日：　　月　　日
調査者名：

市町村名：
地　域　名：

トラップ番号	保管		アリモドキゾウムシ（寄生虫数）				他のゾウムシ	備　考
	開始月日	終了月日	幼虫	蛹	成虫	計		
No.1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
計								

別記様式４

駆除確認フェロモントラップ調査野帳

設置月日：　　月　　日
回収月日：　　月　　日
調査者名：

市町村名：
地　域　名：

トラップ番号	アリモドキゾウムシ（誘殺虫数）			他のゾウムシ	備　考
	雄	雌	計		
No.1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
計					

改　正　後

別記様式５

駆除確認寄主植物調査成績表

調査実施期間：（　年　月　～　年　月）
不妊虫放飼地域：（□である　□でない）

市町村名	地域名	調査場所名	調査植物名	調査地点数	調査個数	寄生個数	アリモドキゾウムシ（寄生虫数）				備考（他のゾウムシの寄生状況等）
							幼虫	蛹	成虫	計	
計											

（注）不妊虫と識別された頭数は備考欄に記入し、それ以外のアリモドキゾウムシの頭数はアリモドキゾウムシ（寄生虫数）欄に記入すること。

別記様式６

駆除確認フェロモントラップ調査成績表

調査実施期間：（　年　月　～　年　月）
不妊虫放飼地域：（□である　□でない）

市町村名	地域名	調査期間	調査トラップ数	アリモドキゾウムシ		備考
				誘殺トラップ数	誘殺虫数	
計						

（注）不妊虫と識別された頭数は備考欄に記入し、それ以外のアリモドキゾウムシの頭数は誘殺虫数欄に記入すること。

現　行

別記様式５

駆除確認寄主植物調査成績表（　年　月～　年　月）

市町村名	地域名	調査場所名	調査植物名	調査地点数	調査個数	寄生個数	アリモドキゾウムシ（寄生虫数）				備考
							幼虫	蛹	成虫	計	

別記様式６

駆除確認イモトラップ調査成績表（誘殺による確認用）

（　年　月～　年　月）

市町村名	地域名	調査期間	調査トラップ数	アリモドキゾウムシ（誘殺虫数）				他のゾウムシ	備考
				トラップ数	雄	雌	計		

改　正　後

別記様式７

駆除確認イモトラップ調査成績表（捕捉の有無の確認用）

調査実施期間：（　年　月　～　年　月）
不妊虫放飼地域：（□である　□でない）

市町村名	地域名	調査期間	調査トラップ数	アリモドキゾウムシ		備考（他のゾウムシの捕捉状況等）
				捕捉トラップ数	捕捉虫数	
計						

（注）不妊虫と識別された頭数は備考欄に記入し、それ以外のアリモドキゾウムシの頭数は捕捉虫数欄に記入すること。

別記様式８

駆除確認イモトラップ調査成績表（寄生の有無の確認用）

調査実施期間：（　年　月　～　年　月）
不妊虫放飼地域：（□である　□でない）

市町村名	地域名	調査期間	調査トラップ数	アリモドキゾウムシ					備考（他のゾウムシの寄生状況等）
				寄生トラップ数	寄生虫数				
					幼虫	蛹	成虫	計	
計									

（注）不妊虫と識別された頭数は備考欄に記入し、それ以外のアリモドキゾウムシは寄生虫数欄に記入すること。

現　行

別記様式７

駆除確認イモトラップ調査成績表（切開による確認用）

（　年　月～　年　月）

市町村名	地域名	調査期間	調査トラップ数	アリモドキゾウムシ（寄生虫数）					他のゾウムシ	備考
				トラップ数	幼虫	蛹	成虫	計		

別記様式８

駆除確認フェロモントラップ調査成績表（　年　月～　年　月）

市町村名	地域名	調査期間	調査トラップ数	アリモドキゾウムシ（誘殺虫数）				他のゾウムシ	備考
				トラップ数	雄	雌	計		